

学校教育自己診断の結果と分析

用語：昨年比→同じ学年の昨年度の結果との比較、前年比→上の学年の前年度の結果との比較、37期3年生、38期2年生、39期1年生

昨年38期生1年次「高1課題」(高校での学校生活や学習になじみにくい)の傾向が見られた。今年度も1年生の①高石高校の生活は楽しく充実、②学校は生徒の意見をよく聞いてくれる、の2項目が前年時減であり、③授業は難しい所もあるがわかりやすく楽しい、は前年比増ではあるものの平均2.36と分岐点2.5よりかなり低い値で、今後も引き続き「高1課題」対応が必要である。対応としては、次年度前半のHRを2連続化して増やし、行事準備とは別に科目選択・進路・人権のHRを設け対応する予定である

平均は高いが前年比減が大きいもの：

②生徒指導など学校生活についての先生の指導は納得できる。平均2.51前年比-0.13/37期：昨年比-0.18/38期：昨年比-0.12/39期：38期生の前年比-0.11⇒人間関係ができてきても、指導への納得度は経年比較で低下。
②では信頼関係を示しているのに、形式的指導と感じている生徒に、時間はかかるが指導の必要性を丁寧に説明していく事と思われる。

前年平均2.5以上が2.5以下に：

⑤校長先生の考えや話はよくわかり先生はお互いに協力し合っている。平均2.45前年比-0.09/37期：昨年比-0.04/38期：昨年比-0.26/39期：38期の前年比-0.05⇒二つの内容があり、低下原因が、校長の話にあるのか、先生方の協力体制にあるのかが不明。次年度、質問項目を分ける必要がある。校長の式辞は少し難しくなっているのかもしれない。
②学校は、生徒の意見をよく聞いてくれる。平均2.46前年比-0.07/37期：昨年比-0.02/38期：昨年比-0.04/39期：38期の前年比+0.13⇒②③では2.5以上あるので、②や⑤とも関連があるかもしれない。聞き入れられない事について、時間はかかるが丁寧に説明していく事が必要と思われる。

前年とほぼ同じで平均2.5以下、課題対応が必要：

⑥環境・国際理解・福祉ボランティア等新しい課題について学習する機会が多い。平均2.13昨年比+0.01/37期：昨年比-0.04/38期：昨年比-0.26/39期：38期の前年比-0.05⇒かたはらに位置づけていないことを生徒も認識。教科内容に含めるか・総合で取り組むか検討が必要。2年の経年比較で大幅減には特定要因があるかどうか検討が必要。
③授業は難しい所もあるが、わかりやすく楽しい。平均2.44昨年比+0.01/37期生：昨年比+0.23/38期：昨年比-0.07/39期：38期の前年比+0.04
④命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。平均2.41昨年比+0.05/37期生：昨年比+0.18/38期生：昨年比-0.16/39期生：38期生の前年比+0.13
④ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う授業が多い。平均2.40昨年比-0.07/37期：昨年比+0.27/38期：昨年比-0.44/39期：38期の前年比+0.01⇒③④⑤は、経年比較結果が3年と2年で正反対となっている。特定の要因があるか検討が必要。特にこの3つは向上にむけ取り組みが急務。

前年とほぼ同じで平均が2.5以下だが、今後の変化を見守りたいもの：

④人権の大切さについて学ぶ機会が多い。平均2.42昨年比+0.04/37期：昨年比+0.18/38期：昨年比+0.01/39期：38期の前年比+0.09
③生徒会活動は活発である。平均2.49昨年比+0.05/37期：昨年比+0.07/38期：昨年比+0.07/39期：38期の前年比+0.11⇒②③は平均2.5以下であるが微増で、地道な取り組み成果が徐々に現れているように感じる。
⑤学校は家庭との連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。平均2.43昨年比+0.01/37期：昨年比+0.02/38期：昨年比-0.01/39期：38期の前年比+0.10⇒さらに一層の取り組みが必要。配布物一覧・次週予定等を週一回メール配信できれば。

注目すべきもの：

⑥悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる。平均2.54昨年比+0.04/37期：昨年比+0.02/38期：昨年比+0.02/39期：38期の前年比+0.14
②先生は色々な問題を見逃さず対応、知られたくない秘密を守ってくれる。平均2.65昨年比-0.03/37期：昨年比-0.02/38期：昨年比-0.02/39期：38期の前年比+0.08⇒教育相談ではケース会議による対応が増えている。相談を受けた教員が1人で抱え込まずに多方面から対応可能だが、②微増③微減は複数教員に対応される生徒の戸惑いの現れかもしれない。
④私は、部活動に積極的に取り組んでいる。平均2.65昨年比-0.07/37期：昨年比-0.08/38期：昨年比-0.10/39期：38期の前年比-0.08⇒平均2.5を上回り部活動参加生徒数は増えているが、生徒の取り組みの質は少し低下の可能性あり。
⑥朝の読書では、みんなしっかり本を読んでいる。平均3.11昨年比+0.07/37期：昨年比+0.00/38期：昨年比-0.17/39期：38期の前年比+0.25⇒平均3.11と生徒はよく取り組んでいる。2年の経年比較減には特定の要因があるか検討が必要。
⑤学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。平均2.93昨年比+0.08/37期：昨年比+0.02/38期：昨年比+0.01/39期：38期の前年比+0.29/
⑤学校では進路に向けた講習がよく行われている。平均2.87昨年比+0.15/37期：昨年比+0.14/38期：昨年比+0.20/39期：38期の前年比+0.30⇒⑦⑧は地道な取り組みの成果。個別対応を深めていき⑥の一層増を期待したい。